

理科部門

総評

今回は、観察をまとめた作品が多い年でした。楽しみながらまとめている作品も多くありましたが、昨年と比較すると、分厚いファイルにまとめたり、1年以上にわたって実験・観察したりしているような大作が少い年でもありました。着眼点としても良いものの、観察だけで終わっている作品や、感想のような結論で締めくくられている作品が多いのも残念です。

今回の受賞作品は手順・丁寧に、且つ繰り返し積み重ねている秀作です。

今後は、観察したこと・実験したことに対して好奇心を持ち、より深い取り組みをしていくような作品が増える事を期待します。

賞 文部科学大臣奨励賞

木炭電池でエコ発電

岐阜県 関市立富岡小学校 6年
塚原 淳之介

小学校6年生にも関わらず、中学校理科の学習内容に取組んでいる、非常に好奇心旺盛な研究作品です。テーマを設定し、仮説を立て、実験を行い、次の課題を見つけてまた仮説を立てる、といった基本の手順を繰り返し、水溶液の濃度や種類、木炭の大きさや種類による比較など、合計10回の実験を行う力作です。また、この作品を通して、一律のフォーマットにそろえてあり、とても読みやすく上手にできています。

今後、飽きず追及心を忘れず、様々なテーマへの取り組みを期待します。



塚原さんの飽きず追及心がうかがえる力作です。

賞 子どもの文化・教育研究所 理事長賞

氷のとけ方

岐阜県 岐阜市立長良西小学校 6年
杉山 真穂

アイスクリームを買ったときにドライアイスがついてきました。なぜ氷ではなくドライアイスなの？という疑問が、この実験のきっかけです。日常生活の中で感じる「不思議をしっかりと探求できました。どのようにすれば溶けにくくなるかをテーマに様々な角度から実験を行っています。結果が一目でわかるよう工夫された点も評価につながりました。水に粉をかけた実験では、粉の量と溶ける時間の関係まで調査すると、さらに面白い結果が得られたかもしれません。今後の研究に期待しています。



容器	粉末量	溶け時間
1号	10g	15分
2号	20g	25分
3号	30g	35分
4号	40g	45分
5号	50g	55分
6号	60g	65分
7号	70g	75分
8号	80g	85分
9号	90g	95分
10号	100g	105分

賞 全国中学校理科教育研究会 会長賞

茅ヶ崎で絶滅寸前！アカテガニの研究

神奈川県 茅ヶ崎市立第一中学校 2年
小林 洗輝

小4のころから興味を持っていたアカテガニを自宅で観察する機会を得ました。アカテガニの成長の速さが月齢に比べて遅く、また、生息域での観察もできず、生物の観察に留まらず、その生物たちの住環境まで見据えた研究となっています。



賞 日本初等理科教育研究会 理事長賞

風のふき方調べ

東京都 白百合学園小学校 3年
佐藤 巴南

マンションに引っ越したことで気づいた風の動きに着目し、調べられた研究です。月齢に集められた測定結果をもとに、建物によっても風が変化するということ発見につながりました。



賞 全国小学校理科研究協議会 会長賞

音ってなんだろう？

東京都 杉並区立桃井第五小学校 6年
井口 玲

自身の弾くピアノから出てくるような音が出るのだから、という疑問が、この研究の動機となっています。目に見えない音についての研究を進め、音が空気の振動であること、共鳴という現象が音を豊かにすることなどを発見が、とても丁寧にまとめられた作品です。



賞 中央出版株式会社 社長賞

習字は3D

東京都 白百合学園小学校 5年
水口 綾穂

筆の動きと線のかたちの関係を研究しています。研究・実験が煩雑にならないように、筆の動きを、縦・横・斜めに絞りました。手作りの実験資料を使い、文字の「払い」や「止めの部分」などを表現しています。題材・実験内容ともにユニークな作品に仕上がりました。



賞 優秀賞

ドライアイスの正体

奈良県 奈良学園小学校 3年
相岡 碧



ビー玉ころる事けん

岐阜県 関市立富岡小学校 3年
佐藤 凜

